

～今月の花木～



ハクモクレン 白木蓮

モクレン科・落葉高木・中国原産

コブシに似た白い花であるが、花と葉はコブシよりも大きい。肉厚で重厚感のある花びらは、痛みやすい。

紛らわしい樹木

世の中には、似ているけど違うもの、言い方が違うけど同じものなど、区別のつきにくい、紛らわしいものがあります。樹木にも見分けや区別のつきにくい、そのようなものがあります。

ぱっと目で樹種の見分けがつかない場合とそうではない場合があり、新しく植栽するときなどは、似たような樹種が混在している場合、取り違え事故のないよう、注意が必要です。

◆見た目が似ている
 「〇〇さん△△さん
 は、似ているね」など、
 見た目で似ていることを
 認識する場合があります。思
 いますが、「キンモクセイ
 とギンモクセイは似てい
 る」といった場合には、
 見た目と共に名前も似て
 います。花が咲いていれ
 ば黄色と白色で容易に見
 分けがつかますが、花の
 無い時期は葉で見分け
 のが難しい樹木です。
 ハナミズキとヤマボウ
 シは、共に庭木などによ
 く植えられ、ぱっと見が
 似ています。共に落葉樹
 のため、落葉期には特徴
 をつかみにくい事があ
 り、「あれ、どっちだっけ」
 と思索してしまう事もあ
 りますが、冬でも樹皮(幹
 肌)の違いなどから見分
 ける事が出来ます。

◆言い方違えども
 別名のある樹種は多
 く、「ユリノキ」「ハンテン
 ボク」などは、葉の形が
 半纏に似ていることから
 来ています。下の紙面に
 クイズを作りましたの
 で、ご興味がありましたら
 挑戦してみてください。

◆見分け方のコツ
 花、実、葉、樹皮(幹
 肌)、樹形を頼りに、樹種
 を見分けます。花や実
 は特徴がわかりやすいもの
 が多く、見分け易い反面、
 ついでに期間が短い
 が難点です。葉は落葉樹
 でも年間3/4はついて
 いるため樹種判定の王道
 ですが、判別の難しいも
 のも多くあります。
 迷ったときは、姿形は
 もとより、季節など様々
 な特徴や要素から樹種を
 導き出します。

<クイズ>同じ樹木を意味する、一般的和名 A 群と別名 B 群を線で結んでみよう！ (答えは裏面)

- A 群
- ナツツバキ・
 - ハリエンジュ・
 - ジュンベリー・
 - セイヨウハコヤナギ・
 - ハナミズキ・
 - ムクゲ・
 - ライラック・
 - ハナヅクバネウツギ・
 - シデ・
 - イスノキ・
 - モミジバスズカケノキ・
 - ブラシノキ・

- B 群
- ・ポプラ
 - ・リラ
 - ・アベリア
 - ・プラタナス
 - ・ニセアカシア
 - ・ハチス
 - ・キンポウジュ
 - ・アメリカザイフリボク
 - ・ヒョンノキ
 - ・アメリカヤマボウシ
 - ・シャラ
 - ・ソロ

✂ (キリトリ線) ※上にめくると、答えが出ます

シデ3兄弟



アカシデ・イヌシデ・クマシデの3種類の葉は、共に細かいギザギザの葉をつけ、ムクノキやサクラにも似ており、見分けのつきにくい葉です。葉の大きさは、アカシデ<イヌシデ<クマシデの順で大きくなります。

シデという名、一般にこの3種のうちのどれかを差し、名の由来は花や実がしめ飾りを飾るヒラヒラした紙の「四手(シテ)(紙垂)」のように見えるからとされます。

アカシデは樹高10m以下のものが多く、この中では最も小型で庭木にもされ、新芽と紅葉が赤いのが特徴です。イヌシデは低地の雑木林でよく見られ、樹高は20m程になり、「イヌ」は使い物にならないという意味があります。クマシデは山地によく見られ、樹高は15m程、「クマ」は他に比べ葉や実が大きく荒々しいからとされます。



クマシデの実(果実の穂)



しめ飾りの四手(紙垂)

ヤマモモの雄と雌の見分け方

雌雄異株であるヤマモモは、実がなるのが雌株で、ならないのが雄株であるのはわかるのだが…。実の無い時期に見分ける場合、何か手がかりは、ないだろうか。

ある日、「実のならない高さ5m位のヤマモモを植えたい」との注文がありました。通常は実のなるヤマモモを指定される方が多く、植木の生産者に相談したところ、接木などで育てた実のなる雌株は指定出来るけれど、確実な雄株は保証出来ないと言われました。でも確実に雄株を入手したく、調べてみると花芽や花の形に雄と雌との違いがあることがわかりました。生産者の畑に行き、2月でしたが、花芽がついている5mクラスヤマモモがあり、当時は半信半疑な思いもありつつ、雄花と見込んだヤマモモを入手して植栽したものが、右の写真です。



雄花の冬芽（2月）



雄花の開花（4月）



雌花の開花（4月）



雌花の結実（6月）

ヤマモモの雌雄は、通常葉では見分けることが出来ず、梅雨のころには実がなるので、判別がつきやすいのですが、それ以外の時期は花芽や花で判別するしかないようです。上の写真のヤマモモは植栽後、梅雨時期に結実することなく、この場所では実で周りを汚したくない要望にこたえる事が出来ました。

似たものどうしの違いなど



ヤマボウシ（ミズキ科）
花期は6月、梅雨のころに咲く。葉は円形～卵形で5～10cm程度。秋にポツポツのある赤い実をつける。樹皮は成木になると所々うろこ状にはがれる。株立ちも多い。



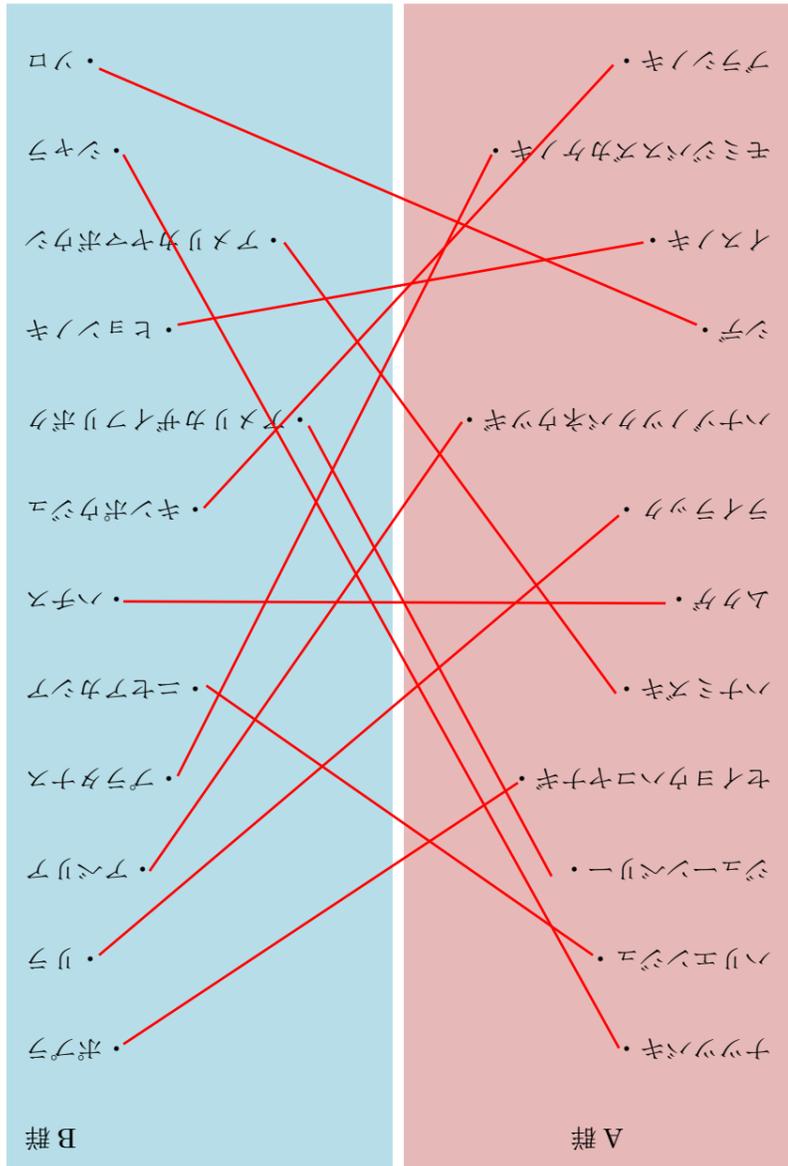
ハナミズキ（ミズキ科）
花期は概ね4月。葉はヤマボウシよりやや大きく色もやや明るい。秋になめらかな果皮の赤い実をつける。樹皮はカキノキに似て網目状に裂ける。最近、街路樹に多い。



エンジュ（マメ科）
花期は7～8月で上向きに咲く。葉は羽状複葉で葉先は尖る。街路樹や公園樹として古くから植えられている。



ニセアカシア（マメ科）
花期は5～6月。葉は羽状複葉で葉先がわずかに窪む。別名、ハリエンジュといい、枝にトゲがあるものが多い。



表面クイズの答え